

広島市植物公園 見どころ案内

2019年12月7日
通巻第444号

カラマツ (マツ科)

漢字で書くと、「唐松」ですが、日本固有種です。また、唯一の落葉する針葉樹です。信州や北海道では、戦後の拡大造林の時代に大量に植林されました。軽井沢の自然を歌った野上彰の「落葉松」は名曲です。

サネカズラ

(マツバサ科)

赤い実は薬用です(生薬「南五味子」)。つるを刻んで水で伸ばした粘り気のある液体を整髪料に用いたことから、美男蔓(ピナンカズラ)の別名もあります。日本(関東以西)・朝鮮・中国に自生しています。

マニラヤシ (ヤシ科)

フィリピン原産(固有種)の中形のヤシ。果実が赤く色づくことから、クリスマスパームとも呼ばれます。

ビヨウタコノキ

(タコノキ科)

マダガスカル原産。タコノキ科でも特に葉が美しいことから美葉(ビヨウ)タコノキと呼ばれています。雌雄異株。この株は丸いゴツゴツした実が付いているので雌株です。

クロガネモチ (モチノキ科)

濃い緑葉と赤実のコントラストが美しいです。雌雄異株なので、赤い実が付いている株は雌株です。樹皮から鳥もちを作ることができますが、小鳥を捕ることは鳥獣保護法で禁止されています。

ヤツデ (ウコギ科)

葉が複数に裂けることから八つ手と呼ばれますが、実際は七つか九つに裂けることが多いです。白い花が咲き始めています。

展示会のご案内

- ◇展示資料館 1F (10/19~12/24)
特別企画展 種子の不思議展
- ◇展示温室(11/23~12/25)
クリスマス飾るフラワー展
- ◇イベント広場他(11/23~12/22までの土日)
花と光のページェント(夜間開園)

野生ギクの花壇

本園の野生ギクの多くは、広島大学植物遺伝子保管実験施設[キク属のバイオリソースセンター]から譲り受けたものです。今回は特設花壇を設け、キクタニギクなど18種の野生ギクを展示しています。多様に進化した花姿を観察してみてください。

さんばがわふゆざくら

三波川冬桜(バラ科)

オオシマザクラとマメザクラの交配種とされています。一重咲きで薄い桃色の花をつけています。

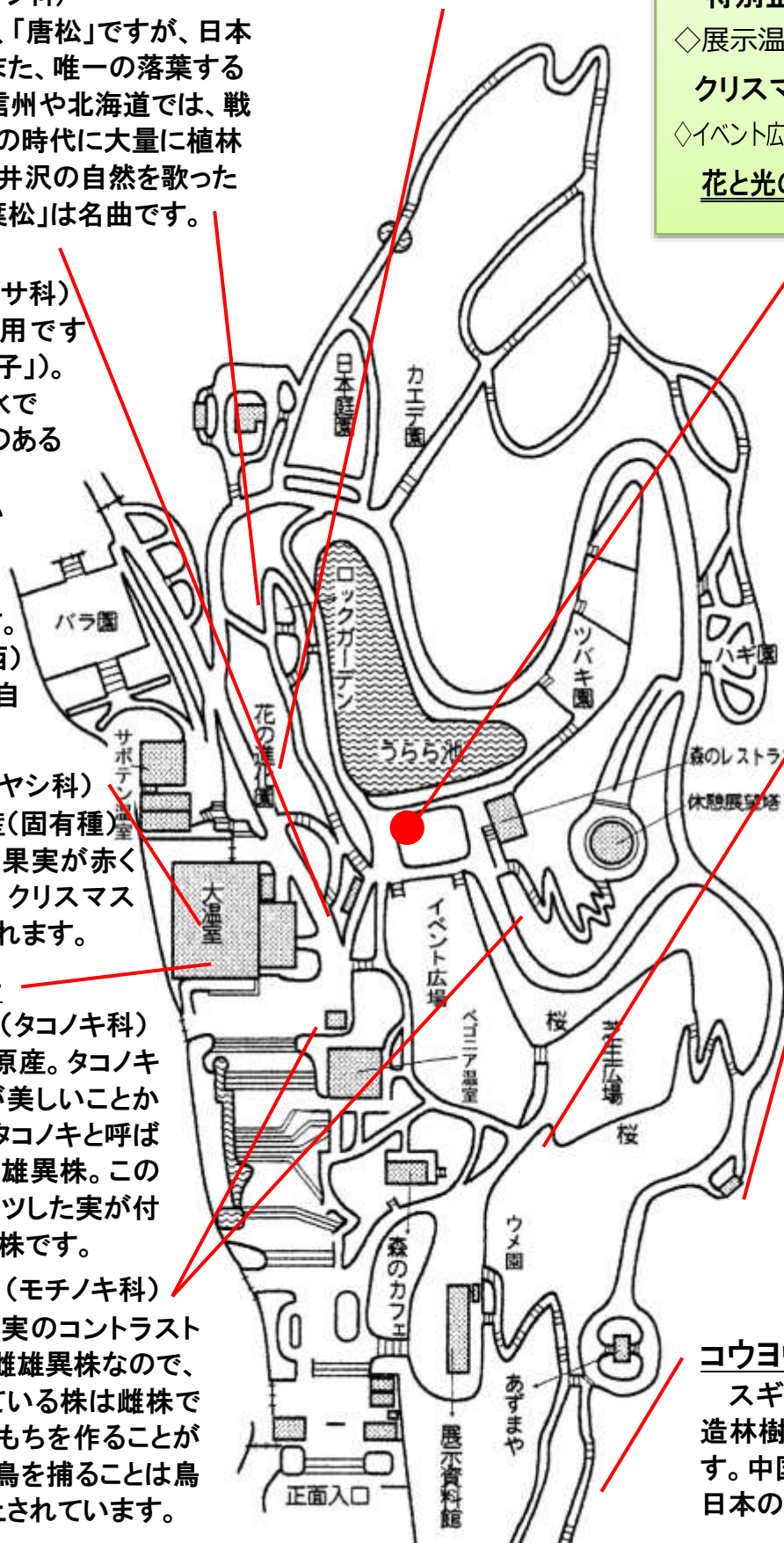
セイヨウヒイラギ

(モチノキ科)

英語ではホーリー(Holly)と呼び、赤い実のついた枝はクリスマスの装飾に用いられます。雌雄異株ですが、単為結果するので、雌株のみで実が付きまます。モクセイ科ではなくモチノキの仲間で、ヒイラギモチとも呼ばれます。

コウヨウザン (ヒノキ科)

スギに代わり、広島県が推奨する造林樹種として注目が集まっています。中国語では、本種を杉(シャン)、日本の杉は柳杉と呼称します。



❖毎週土・日曜日・祝日 午後1時半~3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します❖
❖毎月第2火曜日・第4土曜日 午前11時~は、職員による植物うんちくガイドを実施します❖